

## 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 長野県準備委員会設立趣意書

第 82 回国民体育大会（冬季大会・本大会）及び第 27 回全国障害者スポーツ大会の招致については、長野県議会をはじめ、市町村や競技団体及び関係各位からいただいたご支援により、平成 29 年 7 月、公益財団法人日本体育協会から開催申請書提出順序の了解通知（内々定）を受け、2027 年の本県開催が事実上の決定をみたところであります。

国民体育大会は、昭和 21 年の第 1 回大会以来、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図るなど、明るく豊かな国民生活の発展に寄与してきました。

また、全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与してきました。

本県においては、昭和 53 年（1978 年）に第 33 回国民体育大会（やまびこ国体）及び第 14 回全国身体障害者スポーツ大会を開催し、その成功は県民に自信と誇りをもたらし、本県のスポーツ振興の大きな礎となるとともに、スポーツの感動を世界に発信した長野オリンピック・パラリンピック大会の原動力にもなりました。

以来 49 年ぶりとなる本県での両大会の開催は、全ての県民がスポーツに親しむ契機となるのみならず、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるとともに、本県が目指す健康長寿世界一に向けた健康増進や、地域の魅力向上にもつながり、さらには、本県の魅力を全国へ発信することによる観光や経済活動への波及効果も期待できるなど、大変意義深いものであります。

この 2 つの大会を成功させるためには、関係機関・団体、市町村並びに県が一丸となって県民の総力を結集し、開催準備に取り組む必要があります。

よって、ここに各分野の代表者の参画を得て、第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会を設立し、諸準備に万全を期するものであります。